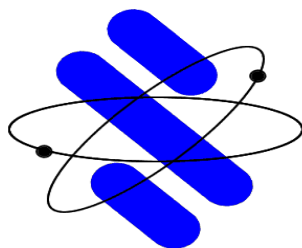


◆平成23年3月期 第2四半期累計期間

業績レビューと見通し



平成22年11月8日

株式会社 昭和システムエンジニアリング

目次

平成23年3月期 第2四半期累計期間 業績レビュー

1	業績概要	4
2	経営成績	5
3	業績推移	6
4	事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）	7
5	事業別業績推移（入力データ作成事業）	8
6	事業別業績推移（受託計算事業）	9
7	業種別売上比率（全社）	10
8	貸借対照表	11

平成23年3月期の見通し

9	経営環境	13
10	平成23年3月期の展望	14
11	平成23年3月期業績見通し	15
12	売上高推移見通し	16

平成23年3月期 第2四半期累計期間

業績レビュー

1. 業績概要（平成23年3月期 第2四半期累計期間）

売上高

1,872百万円

(前年同期：1,780百万円)

経常利益

45百万円

(前年同期：0.13百万円)

純利益

28百万円

(前年同期：△56百万円)

経営環境

わが国経済は、政府の消費促進政策やアジアを中心とする好調な海外経済などに支えられ一時的に持ち直しの兆しが見られたものの、依然として続くデフレ経済と厳しい雇用環境、さらに円高・株安の進行など先行き不透明な環境で推移しました。

情報サービス産業界の動向

売上高の前年同月比は、4月～7月まではマイナスのまま推移しましたが、8月に入り15か月ぶりにプラスに転じました。
(経済産業省・特定サービス産業動態統計)

当社の施策・・・

営業力や技術力の強化に加え、利益重視の案件選択や人的資源の集中を図るとともに、全社的なコスト削減を進め、特に一般管理費の削減に努めてまいりました。
なお、技術力強化のために実施している教育訓練活動に関連して雇用調整助成金を受給しております。

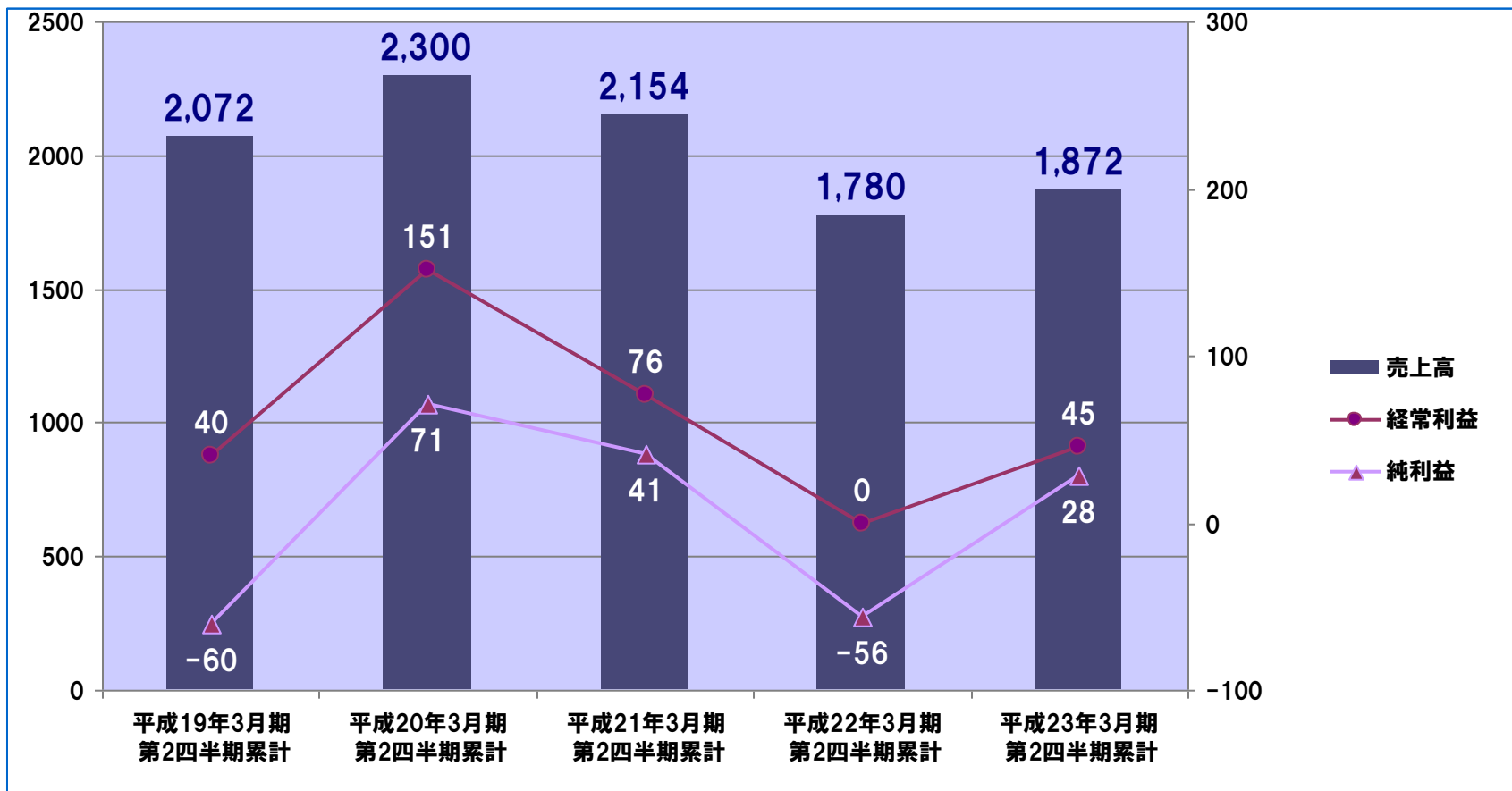
2. 経営成績

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計	平成22年3月期 第2四半期累計	前期差額	増減率
売上高	1,872	1,780	92	5.2%
売上総利益	196	188	8	4.3%
総利益率	10.5%	10.6%	—	
販管費	168	191	△23	△12.0%
営業利益	27	△3	30	—
経常利益	45	0	45	—
特別利益	9	—	9	—
特別損失	—	54	△54	—
税引前利益	54	△53	107	—
法人税等	26	2	24	—
純利益	28	△56	84	—

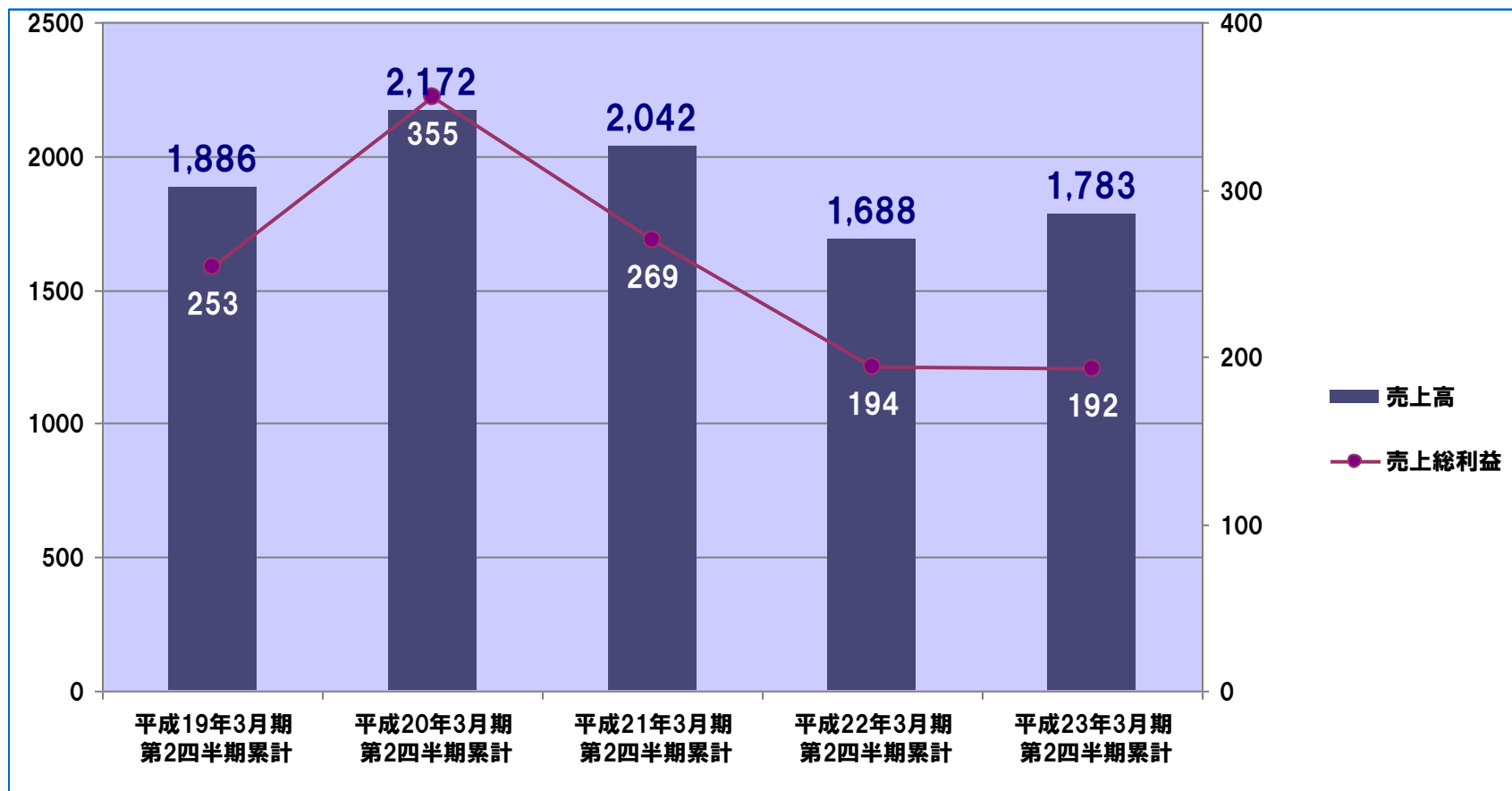
3. 業績推移

(単位：百万円)



4. 事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）

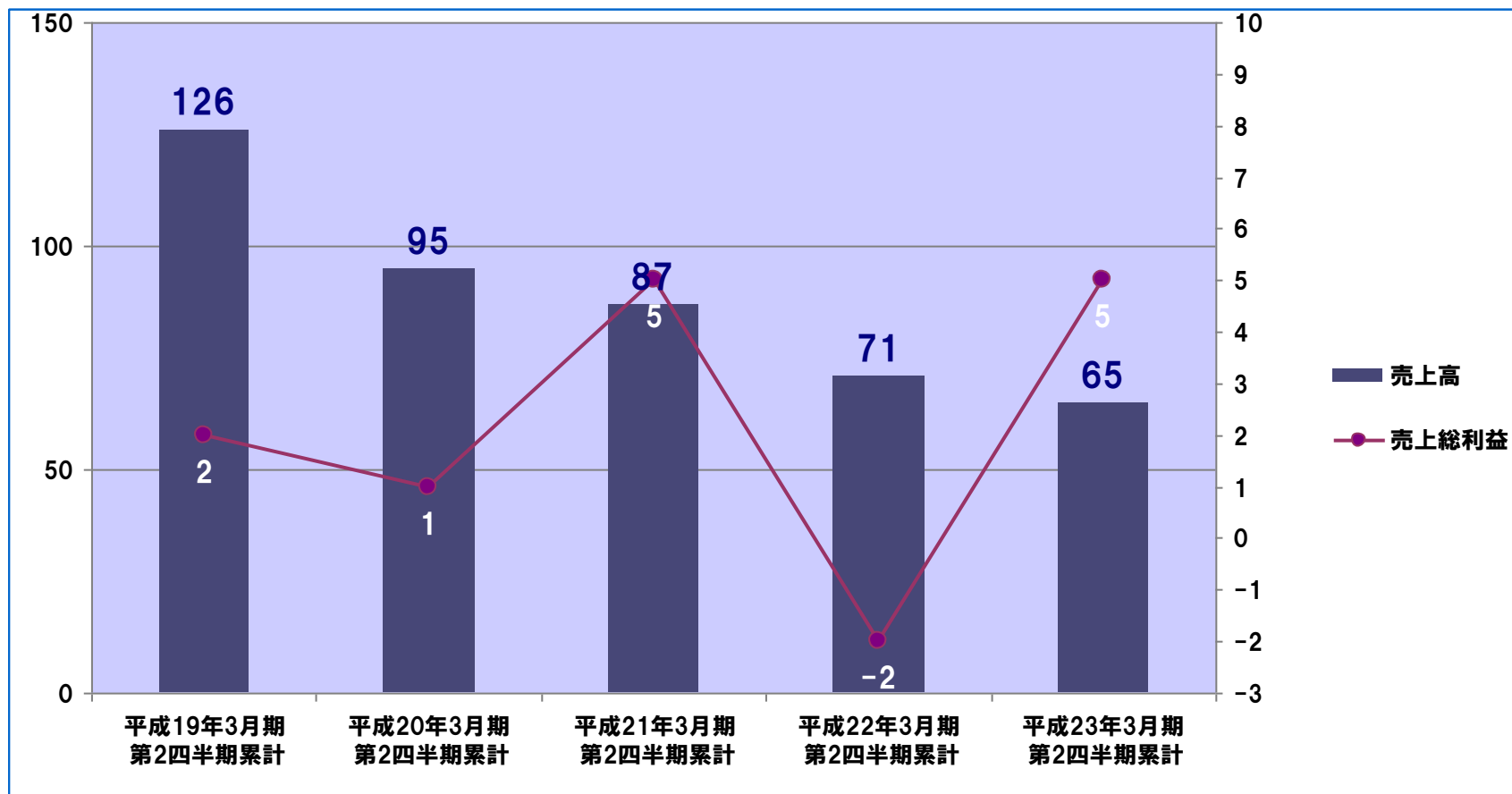
（単位：百万円）



依然としてIT抑制姿勢が続いており、厳しい環境で推移しました。

5. 事業別業績推移（入力データ作成事業）

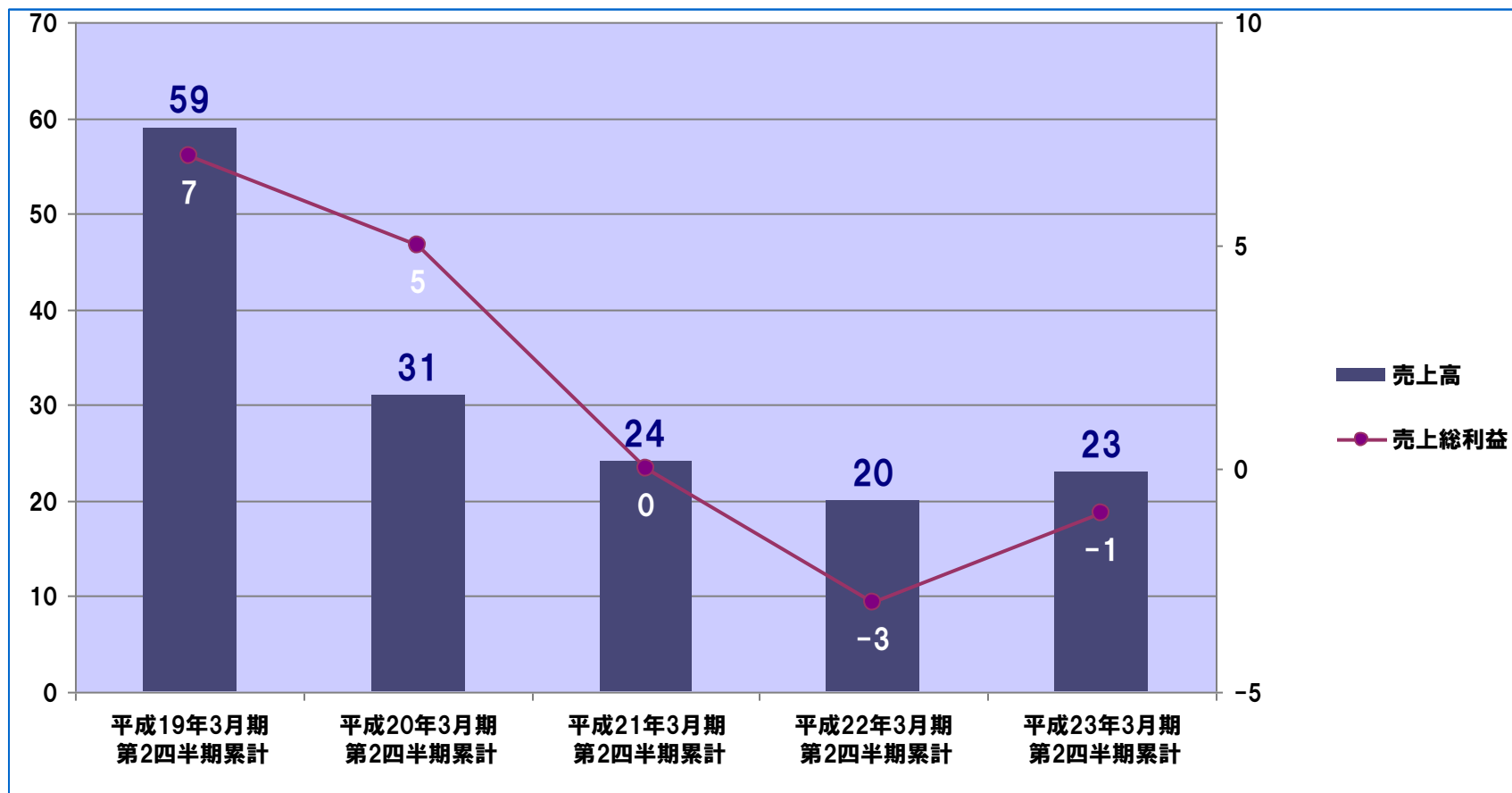
（単位：百万円）



市場規模は漸減傾向にありますが、コストを抑えることで利益を確保しました。

6. 事業別業績推移（受託計算事業）

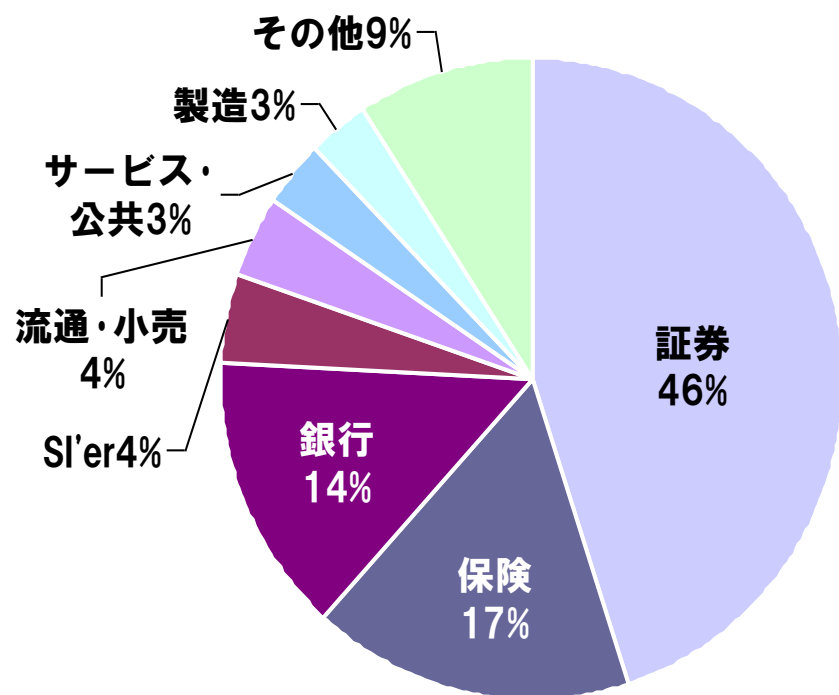
（単位：百万円）



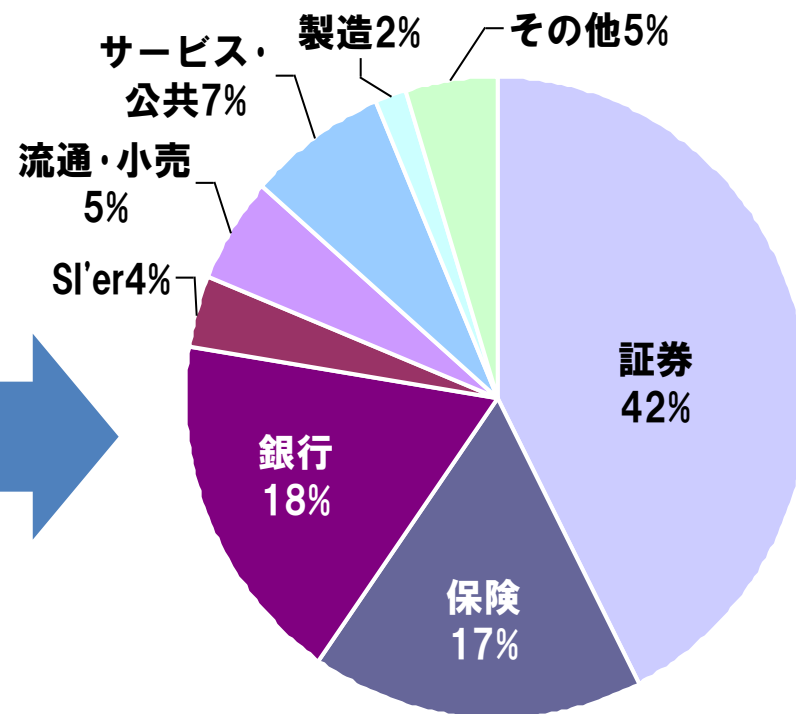
顧客の経費抑制が続いており、案件数が低迷しました。

7. 業種別売上比率（全社）

平成22年3月期
第2四半期累計
(ご参考)



平成23年3月期
第2四半期累計



業種別比率は、ほぼ前年と同様な構成になりました。

8. 貸借対照表

平成22年3月期
第2四半期末

(平成21年9月30日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,696	流動負債 415	負債・純資産の部
	2,822		固定負債 1,280	
	固定資産	純資産合計 2,132	3,828	
	1,005			
3,828				

平成23年3月期
第2四半期末

(平成22年9月30日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,817	流動負債 474	負債・純資産の部
	2,973		固定負債 1,343	
	固定資産	純資産合計 2,166	3,984	
	1,010			
3,984				

流動比率	678.6%	→	626.6%
自己資本比率	55.7%		54.4%

平成 23 年 3 月 期 業 績 見 通 し

9. 経営環境（平成23年3月期）

- わが国経済は下期にかけて停滞感が強まる中、急激な円高進行に伴う輸出への悪影響など下振れ傾向が一層懸念され、先行き不透明な経済環境が続くものと予想されます。
- 情報サービス産業の売上高の前年同月比は、8月に入り15か月ぶりにプラスに転じましたが、内訳の7割弱を占めるソフトウェア開発はほぼ横ばいであり、情報化投資の方向性は見えにくいままで。
- 顧客企業の情報化投資については、一部に案件の動きが見え始めているものの、上述のとおり全体としては慎重な姿勢が続くものと思われれます。

10. 平成23年3月期の展望

対処すべき課題	施策
<p>👉 選択と集中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の売上拡大をはかる中で利益を確保 ・優良顧客への資源集中 ・エンドユーザー売上比率の向上
<p>👉 技術者の確保と人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有為な人材獲得 ・雇用調整助成金を活用した育成プログラムの強化 ・スキルアップとスキルチェンジによる市場への対応
<p>👉 サービス価値の見える化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査に基づく評価の分析 ・サービスの定量的な価値把握 ・顧客サービス向上のためにフィードバック
<p>👉 内部統制の定着と効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な見直しと改善 ・管理業務の効率化 ・監査法人による助言、指導

※当社業績を成長基軸へ戻すため、中長期視点から掘り起こした課題に対処すべく、種々の施策を実行してまいります。

1 1. 平成23年3月期業績見通し

(単位：百万円)

	平成22年3月期		平成23年3月期		
	実績	前年同期比 増減率	見通し	前期差額	前年同期比 増減率
売上高	3,646	△13.8%	3,800	154	4.2%
営業利益	78	△59.6%	90	12	15.4%
経常利益	84	△59.8%	100	16	19.0%
当期純利益	5	△94.5%	60	55	—
1株当たり 当期純利益(円)	1.07		12.48	11.41	

厳しい経営環境に対し、得意分野への「選択と集中」を基軸に、既存顧客の深耕や新規案件の開拓など、一層の売上拡大をはかる中で、利益を確保してゆく施策の実現に努めております。

(注) 本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

1 2. 売上高推移見通し

(単位：百万円)

